

# 第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年1月

応募者名: 館山市

事業の名称: 都市計画道路船形館山港線

シンボルロード整備事業

実施都市名: 館山市

## 事業目的

本事業は、館山市の総合計画に示された「海辺のまちづくり」の中で、シンボリックな道路空間を創出し、館山市の観光の軸となる道路を整備するものである。

具体的には、「海辺のまちづくり」の施策である「ビーチ利用促進モデル事業」、「館山港多目的観光棧橋整備事業」、同棧橋基部の交流拠点「“渚の駅”たてやま整備事業」等に加え、南欧風の景観形成に向けた取組みと一体となった道路整備により、海辺の賑い空間を創出することを目的とする。

## 事業概要

事業名称：都市計画道路船形館山港線  
シンボルロード整備事業

路線名：都市計画道路3・5・10号船形館山港線

事業箇所：館山市北条・八幡地内

事業延長：L=1,270m

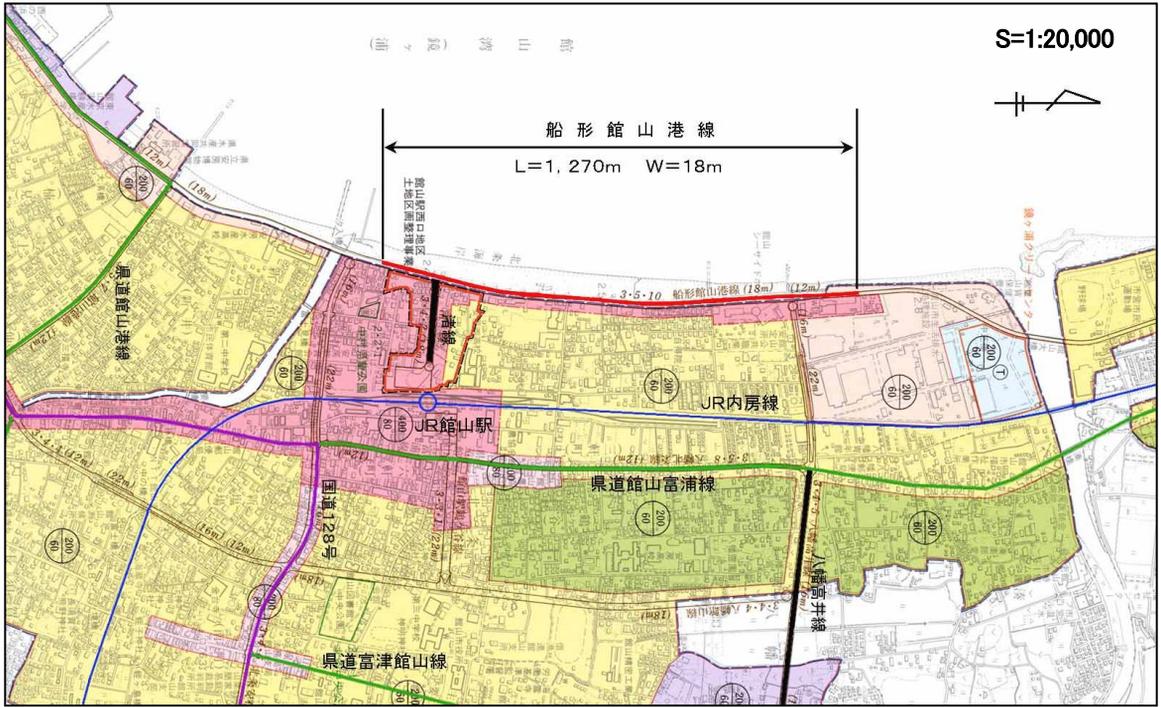
幅員：W=18.0m

事業費：953百万円

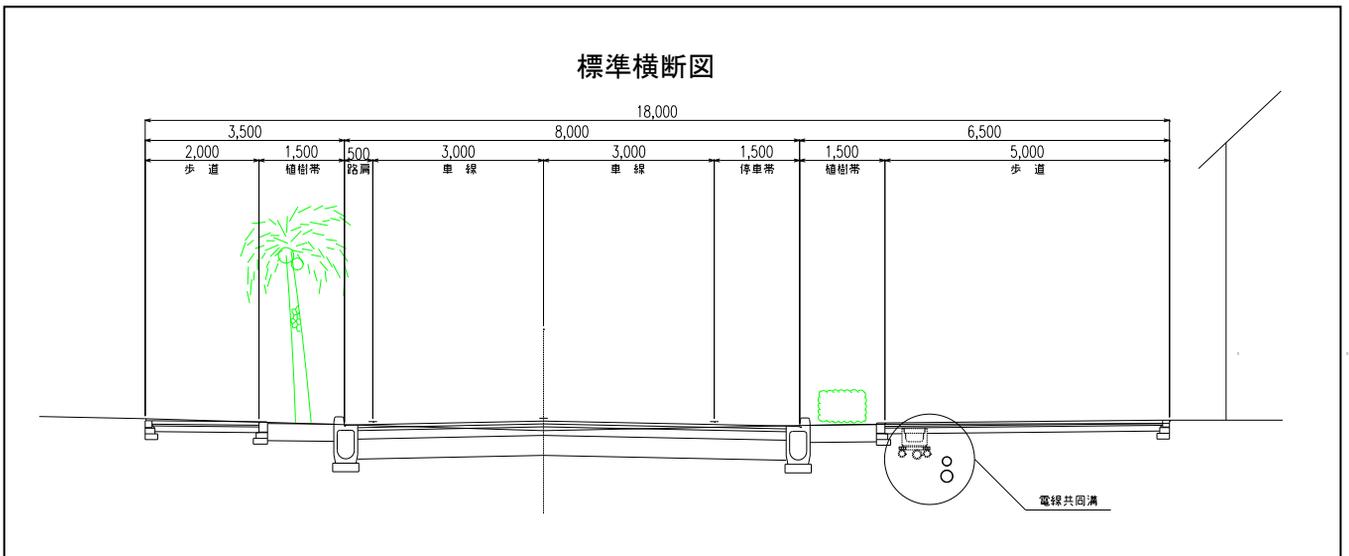
事業実施期間：平成13年～平成23年

館山駅西口地区周辺との連続性やビーチ利用促進モデル事業と整合のとれた景観形成が推進されるとともに、広幅員歩道の設置、電線類の地中化により、安全で快適な道路空間の確保、防災性の向上が図られた。

# 事業位置図



## 全体図(平面図・横断図)



# 都市計画道路船形館山港線の整備効果アピール資料

## ○事業概要

事業名:都市計画道路船形館山港線シンボルロード整備事業

路線名:都市計画道路3・5・10号船形館山港線

事業箇所:館山市北条・八幡地内

事業延長:L=1,270m

幅員:W=18.0m

総事業費:953百万円

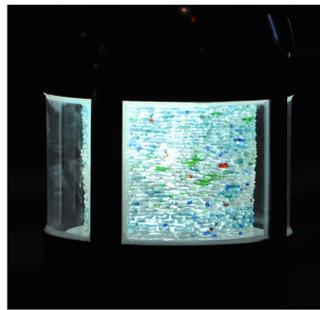
事業期間:平成13年～平成23年



愛称「鏡ヶ浦通り」



手作りランプシェード(車止め照明)



寄附により植栽されたワシントンヤシ



ボランティアによる花の植栽



電線類の地中化



第30回記念「南総里見まつり」

## 【住民参画】

・「船形館山港線シンボルロード協議会」が組織され、歩道デザイン、街路灯イメージ、植栽計画に関する整備方針が「都市計画道路船形館山港線シンボルロード整備計画報告書」として取りまとめられた。

館山市は、この整備方針に基づき事業を進めた。

- ・「北条海岸シンボルロード車止め照明ランプシェード制作委員会」の指導により、市民が海岸で集めたビーチグラスを用いて制作した**オンリーワンの手作りランプシェード**が設置された。
- ・館山駅西口地区との連続性を持たせた南欧風の景観形成の更なる展開を目指し、館山ふるさと大使の協力のもと、「館山ヤシの木で街おこし実行委員会」が組織され、寄附を呼びかけた結果、事業区間の沿道に80本の**ワシントンヤシ**が植栽され、記念プレートと共に市へ寄贈された。
- ・設置されたプランターベンチ内に、**市民ボランティアによる花の植栽**が行われた。
- ・一般公募により愛称を募集した結果、道路に隣接する鏡ヶ浦(館山湾)の名から「**鏡ヶ浦通り**」と命名された。

## 【安全・安心の道づくり】

- ・広幅員歩道の設置、**電線類の地中化**により、安全で快適な道路空間の確保、防災性の向上が図られた。

## 【関連事業との一体性】

- ・本路線に隣接する、「ビーチ利用促進モデル事業」と整合を図りながら事業実施したことにより、道路と海浜施設(駐車場等)が一体的に整備され、海岸利用者の利便性の向上が図られた。

# 事業前写真

平成15年12月撮影



平成19年10月撮影



# 事業後写真

平成23年6月撮影



歩道のデザインは波をイメージ

平成23年8月撮影



館山湾花火大会